

せいけん  
詩集

第一百篇

作：近藤せいけん



# 「小さな応援団」

神宮の球場 T大学とK大学戦

T大学応援団

女性が多い 小さな応援団

大きな声を張り上げ

一生懸命(いっしょうけんめい)

演奏 声援する

時あたかも 決勝戦

延長十回無死一塁 劇的な

サヨナラ ホームラン

全員総立ち 飛びはね

こぶしを天に突き上げる

紙テープが舞い

応援歌が いきおいよく

流れる 大学日本一

T大学応援団

女性の多い 小さな応援団

相手のK大学

じつとして 動かない